

特別展

ほうねん ごくらくじょうど 「法然と極楽浄土」 関連文化講演会

令和6年4月16日から東京国立博物館で開催される特別展「法然と極楽浄土」に関連する文化講演会を、NHKと共催で実施します。

平安時代末期、繰り返される内乱や災害・疫病の頻発によって世は乱れ、人々は疲弊していました。比叡山で学び、中国唐代の阿弥陀仏信仰者である善導(613~681)の教えに接した法然(法然房源空、1133~1212)は、承安5年(1175)、阿弥陀仏の名号を称えることによって誰もが等しく阿弥陀仏に救われ、極楽浄土に往生することを説き、浄土宗を開きました。その教えは貴族から庶民に至るまで多くの人々に支持され、現代に至るまで連綿と受け継がれています。

本展は、令和6年(2024)に浄土宗開宗850年を迎えることを機に、法然による浄土宗の立教開宗から、弟子たちによる諸派の創設と教義の確立、徳川將軍家の帰依によって大きく発展を遂げるまでの、浄土宗850年におよぶ歴史を、全国の浄土宗諸寺院等が所蔵する国宝、重要文化財を含む貴重な名宝によってたどります。困難な時代に分け隔てなく万人の救済を目指した法然と門弟たちの生き方や、大切に守り伝えられてきた文化財に触れることのできる貴重な機会となっている本特別展の見どころをご紹介します。

日時 令和6年4月24日(水)
午後6時50分開演(午後6時10分開場)

会場 日本橋公会堂ホール「日本橋劇場」
中央区日本橋蛸殻町1-31-1

対象 区内在住・在勤者

講師 瀬谷 愛 東京国立博物館
列品管理課登録室長

演題 特別展「法然と極楽浄土」のみどころ

定員 380名(予定) 全席指定(申込多数の場合は抽選)

参加費 無料

主催 中央区文化・国際交流振興協会/NHK

申込方法

3月21日(木)(必着)までに、往復はがきに必要事項をご記入の上、お申し込みください。 ※詳細は裏面参照

講演会受講者には、本特別展の招待券を一人1枚差し上げます。

申込・問合せ先 中央区文化・国際交流振興協会

〒104-0041 中央区新富1-13-24 新富分庁舎3F
電話: 03(3297)0251 HP: <https://www.chuo-ci.jp/>



【会期】令和6年4月16日(火)~6月9日(日)
【開館時間】午前9時30分~午後5時 ※入館は閉館の30分前まで
【休館日】月曜日、5月7日(火)
※ただし、4月29日(月・祝)、5月6日(月・休)は開館
【会場】東京国立博物館 平成館
●入場に関する制限など、詳しくは
展覧会公式サイトをご覧ください
<https://tsumugu.yomiuri.co.jp/honen2024-25/>



往復はがき 記入要領

返信用(おもて)に、あなたの〒・住所・氏名を書き、返信用(うら)には何も書かないでください。
往信用(うら)に次の①～⑥をお書きください。

- ①法然と極楽浄土 ②氏名・ふりがな ③〒・住所 ④電話番号 ⑤年齢
⑥在勤者は勤務先の名称・所在地・電話番号

※車いす席が必要な方はその旨も記載してください。

介助者についても別途申込が必要となります。

※申込みは、往復はがき1枚につき、お一人となります。

料金不足の往復はがきは返却します。

また、申込み要件不備・重複申込み・必着日を過ぎた申し込みは無効となります。

〈記入例〉

往信用(おもて)

返信用(うら)

郵便往復はがき	
63	104-0041
往信	
中央区文化・国際交流振興協会 行	中央区新富1-13-24 新富分庁舎3階
	この面には何も書かないでください。

返信用(おもて)

往信用(うら)

郵便往復はがき	
63	あなたの郵便番号
返信	
あなたの氏名 宛	あなたの住所
	①法然と極楽浄土 ②氏名・ふりがな ③〒・住所 ④電話番号(携帯など、日中の連絡先) ⑤年齢 ⑥在勤者は勤務先の名称・所在地・ 電話番号をご記入ください。